



SSH 通信



広島大学附属高等学校

SSH 通信作成委員

2025 年度 第 3 号

2025 年 9 月 26 日発行

皆さんこんにちは。2025 年度の SSH 通信作成委員です。この SSH 通信では、本校の SSH プログラムの 1 年間の活動をお伝えしていきます。第 3 号では、1 学期に実施された「イノベティブサイエンス講義（第 1・2 回）」についてお知らせします。

<第 1 回イノベティブサイエンス講義：高 I 5 月 21 日（水）>

テーマ：自分の将来を考えよう

講師：有馬 実希 先生 海野 美月 先生（広島大学 スタートアップ推進部門 スタートアップ推進マネージャー）

【概要】

この講義は、進路や研究テーマの選び方を考えるという内容でした。私たち自身の好きなことや得意なことを突き詰め、日常の疑問を深める姿勢の重要性が語られました。また、失敗を恐れず挑戦する姿勢や「やってみないと分からない」という考え方も示されました。講師の先生方の体験談や質疑応答を通じて、これからの進路や研究に対する柔軟な考え方を学ぶ機会となりました。



【学び】

- ・講師の先生方のお話を聞き、研究テーマを探す際、問いを頑張って絞り出すだけではなく、自分の好きなことについて掘り下げてみることも一つの手だと思いました。課題研究のテーマ設定までまだ時間があるので、それまでに自分の好きなことについて分析したいと思いました。
- ・先生方の興味深いお話の中で、「自身の学んできたことを用いて、他人とコミュニケーションを取りたい・人の役に立ちたい」という考えが共通していると感じました。確かに自分のキャリアを実行していく中で、「他者からのアテンション」というのは大きな心の支えになると思うので、今後の課題研究でこのマインドを活かしていきたいです。

<第 2 回イノベティブサイエンス講義：高 I 7 月 11 日（金）>

テーマ：社会の最前線で働いて、どうのこと？－企業から見る“探求”のカタチ－ 半導体デバイス開発の現在と未来

講師：三笠 典章 先生（マイクロメモリジャパン株式会社）

【概要】

第 2 回イノベ講義では、企業の視点から見た「探求」の在り方について学びました。具体的には、シリコンウェーハを基盤とする NAND フラッシュメモリと DRAM のそれぞれの特性や課題について丁寧に説明いただきました。NAND は高密度でデータ保持に優れる一方、書き換え回数に制限があり、DRAM は高速動作が可能である反面、揮発性が課題とされます。それらの比較を通じて、今後のメモリ技術の展望と、企業における研究開発の意義を教えていただきました。

【学び】

- ・情報化社会で競合他社の製品に勝るものを開発するには、技術力はもちろん、独創的なアイデアも不可欠だと学びました。アイデアを生み出す時には、タブーを恐れず、ブレイクスルーを積み重ねることが重要だという話が印象的でした。



- ・日常の様々なものに使われているが、全くそれについて知らなかった半導体についてのお話を聞くことができ、とても興味深かったです。企業の研究は、同業他社に負けないよう、常に新しい価値を求めていくとおっしゃっていましたが、私たちの課題研究も、先行研究を踏まえて、新しい価値のある研究をしなければならないので、今のうちからやりたいと思っているテーマの先行研究について Google Scholar などですっきりと調べて、新しい価値のある研究が行えるようにしたいと思いました。

第 4 号では、「第 5 回バーチャル課題研究発表会（高 II AS コース全員・GS コース希望者）」や「韓国事前学習（高 II AS コース）」、「研究倫理特別講義（高 II）」について紹介する予定です。